



2023 年度
第 41 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的变化を

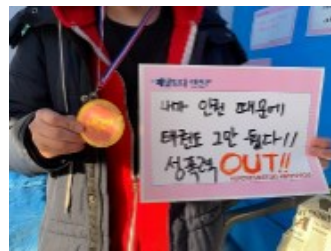
皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

「スポーツミートゥー」の
痕跡探し
[MeToo 以降の時間は以前
とは違う] 体育界にも変化



慶州市民社会団体
人権侵害加害者
体育会長糾弾の
声を高めて



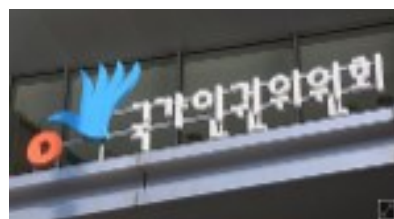
平和のための
青年たちの歩み
2023 地球ラン
平和の足跡 in 釜山開催



スポーツ倫理センター
木浦競技場
訪問相談窓口
を運営



みんなのための
スポーツ
人権委、全国体育大会の
人権点検に乗り出す



01 ハム・ウンジュ スポーツ人権活動家 2023. 10. 10

「スポーツミートゥー」の痕跡探し

[MeToo 以降の時間は以前とは違う] 体育界にも変化を



2019年1月、ソチ五輪と平昌五輪でいずれも金メダルを獲得した世界トップクラスのスケート選手が、長い間コーチから身体的暴力と性暴力に苦しんできたことを暴露した。「スポーツミートゥー」の象徴的事件であり変化の始まりとして知られているこの事件を契機に、市民の世論は体育界の自省と革新を促し、政府と体育界を圧迫した。これまで経験したことのない関心と支持だった。

事実、2007年ウリ銀行バスケットボールチーム監督の選手性暴行事件、2018年体操協会役員の国家代表常備軍指導者セクハラ事件などが大きく報道された事例がある。しかし、しばらくニュースになっただけで、大衆とマスコミの関心はそれほど長く続かなかった。毎回類似事件が知らされる度に、性暴力事件全数調査および加害者懲戒強化程度の対策を出すだけだった。このような事件が繰り返される原因と構造に対する問題意識は一時的であり、構造的な原因を分析して代案を提示し、その代案の履行と結果を見ようとする意志は見られなかった。

人々は自分たちが応援し支持したオリンピックで善戦し喜びと歓喜を与えた国家代表選手が指導者から長い間暴力および性暴力という犯罪を持続的に体験してきたことに大きな衝撃を受けた。また、スケート連盟のような種目団体や大韓体育会がこれをきちんと管理するどころか、隠蔽してきたことに憤りを示した。

体育界内の類似事件に対して相対的に関心が少なかった市民団体も、今回だけは積極的に大きな声を出した。多様なメディアとプログラムでこの事件を扱い、国会も記者会見と討論会などを通じて体育界を糾弾し、政府に対策を要求して圧迫した。特に、このような問題が長い間続いてきた背景として、スケート界をはじめとする体育界の位階文化と成績至上主義、派閥のような構造的な問題に対する根本的かつ具体的な解決を要求した。

当時、文在寅大統領まで首席補佐官会議などの公式席上でこの問題に言及すると、文化体育観光部も積極的に乗り出した。性暴力のようなスポーツ人権侵害を量産する体育界の構造的な問題を解決するための革新が必要だという専門家たちの意見と世論を反映して「スポーツ革新委員会」を発足した。2019年2月、文化体育観光部主導で企画財政部、教育部、女性家族部次官と国家人権委員会常任委員が当然職委員として参加し、体育、人権、障害者、女性、法曹界、市民団体などで活動してきた専門家で構成された民・官合同委員会であった。

これまで体育界の構造的な問題を批判し指摘してきた選手出身の体育人やスポーツ専門家はそれこそ数えるほどだったが、その人々が「スポーツ革新委員会」で活動することになった。以前の衝撃的な体育界性暴力および人権侵害事件に対する対応とは比較にならない規模と重みを持った委員会だった。

それで希望を抱いた。初めてだった。体育界の革新に向けた政府の意志と熱望が見えると思った。今回だけは体育界の変化を図れると思った。このように国民的関心があり、政府が意志を示す機会がまたあるのかと思った。今回は最後のチャンスだと思った。今度は違うと思った。

スポーツ界革新の夢は文字通り夢だったのか

「スポーツ革新委員会」は1年間170回余りの会議を通じて、成績と成果中心のスポーツを通じた国威宣揚を指向する「国家スポーツ」パラダイムを体育人中心ではなく「すべての人のためのスポーツ」パラダイムに転換し、これを土台にスポーツ界の構造革新を目標に計7次に及ぶ勧告案を発表した。

しかし、体育界はこれらの勧告案に激しく抵抗した。大衆と市民団体の関心が薄れ、今は体育界が声を大きく出し始めた。体育界は「スポーツ革新委員会」が体育人を潜在的犯罪者として扱おうと非難し、体育界の一部の問題に過ぎないとし、問題の原因を個人的なものに縮小した。甚だしくは直接加害者だけが処罰を受けただけで、選手を保護できなかった体育関連機関のいかなる長も責任を負わなかった。

大韓体育会および種目団体を通じた体育界の集合的な声は大きな力があった。「体育人」という名前ですず革新に反対する声は政府を沈黙させ、勧告案履行を止めた。

ついに現尹錫悦政府は成績至上主義とスポーツを通じた国威宣揚パラダイムを転換しようという前政権の「スポーツ革新委員会」勧告が「現場を反映しない卓上行政」として方向を変えた。スポーツ国家競争力増進のためにエリート体育人に翼をつける、体育人中心の政策を施行するという2023年業務計画を立てた。選手を道具化し、性暴力のような反復的人権侵害を作る構造的な原因である成績および成果中心の体育政策を指向するという他にない。

特に「スポーツ革新委員会」の1次勧告は体育界人権侵害被害者の保護および支援体系確立と、政府および体育界人権侵害対応システムの全面革新に対するものだった。実効性のある救済措置と予防システムを履行することと独立性、専門性、信頼性を備えた「スポーツ人権機構の設立」を勧告したのだ。1次勧告のためにスポーツ性暴力事例の構造的環境分析、診断と既存のスポーツ分野人権保護対策を分析、評価してスポーツ人権侵害予防対策と限界を診断し、これを改善し補完できる人権侵害対応システムを提案した。また、履行点検でも、新設されるスポーツ人権機構が実効性を持つよう勧告の趣旨をよく生かして組織を構成し運営することを強調した。

しかし文化体育観光部はこれさえも体育界の顔色を伺いながらスポーツ革新委員会の当初の勧告趣旨と構成案とは異なる方向で、スポーツ人権機構設立を遅く推進した。そして2020年7月に故チェ・スクヒョン選手死亡事件（トライアスロン国家代表出身チェ・スクヒョン選手の死亡に関連して、選手が監督とチーム先輩、チームドクターと呼ばれた運動処方士などから苛酷行為を体験したことが知らされ、以後この事件は体育界職場内いじめで労災認定を受けた）が報道され、「スポーツ倫理センター」という名前でスポーツ人権機構を拙速に設立する。

スポーツ革新委員会の勧告を履行したというが、スポーツ人権機構設立という事実はあるものの、独立性、専門性、信頼性の基本要件を備えていない機構だった。そのように調査権も、直接懲戒権もない「スポーツ倫理センター」という名前だけのスポーツ人権機構だけが残った。2019年のスポーツMeTooをきっかけに新しい大韓民国スポーツの未来のための革新を夢見たが、文字通り夢になった。私がいかに純真だった。

スポーツ界の市民運動は動き続けている

振り返ってみた時、2019年のスポーツ MeToo は我が国のスポーツ史上最も衝撃的な事件でもあるが、これを契機に発足した「スポーツ革新委員会」活動がスポーツ政策の歴史でも大きな意義を持つという点を強調したい。スポーツミートゥーが残した大きな痕跡だ。

これまで体育界で暴力と性暴力事件、不正事件がある度に政府は体育界「内部」で自省し問題を解決するよう任せる方式を選んできた。体育界の特殊性があり、体育界をよく理解する人々が問題を解決できるという一種の当事者主義の観点だった。だが、体育界は根本的原因を分析し対策を用意する方式よりは、事件に対する論難が広がらないよう隠蔽しようとした。加害者に対する尻尾切り式捜査と温情主義が発揮された見せかけ式軽い懲戒を繰り返した。

このような対応を繰り返さないために、スポーツ革新委員会を通じて体育界構造の問題を指摘し、体育界を対象に「独立的に」改革を推進しようとしたのだ。少なくとも始まりはそうだった。

結果的にスポーツ革新は失敗した。むしろスポーツ革新の時間が逆に回っていると感じる。古い時代遅れの体育界を変えて新しくやりたかったし、今回だけはそうできるという純真な期待を抱いた。因習が古いだけに固まって厚くなっていることを、その時は意識できなかった。それを剥がすだけの能力が我々には足りなかった。

しかし、スポーツ革新委員会の勧告と活動がスポーツ革新議題を人権、障害、法曹、女性界と共有し議論し公論化したという点で変化の種を見たと言いたい。これを通じてスポーツ関連市民運動の対象を拡張し、連帯の道を開いたと思う。スポーツ MeToo 運動、そして続いた故チェ・スクヒョン選手事件などが国民的関心を集め、人権団体、女性団体、民主社会のための弁護士会、参加連帯のような公益市民団体などと連帯する契機になったのだ。

スポーツ革新委員会の活動は体育界市民運動の標示石であり、一種のガイドのような役割を果たしてきている。これからもそうだろう。一方で、始まりは壮大だったが、最後はみすばらしいし残念だったスポーツ革新委員会の活動を通じて、体育界市民団体の劣悪な現実と力量の限界を痛感した。

スポーツ革新のために必要なのは「スポーツ革新が必要だ」という当為の根拠を強固にし、これを市民と共有して共感を得て連帯することだ。このために体育界の市民運動が着実にうまく続けなければならない、そのための土台と力量を積むことが重要だ。以前よりも多くの人的資源と学問、理論的土台、連帯などネットワーク資源が必要だ。

私は運動(スポーツ)を媒介に連帯して運動(ムーブメント)がうまくできる方法を模索中だ。挫折も疑いもあるが、スポーツ革新の道に向かって私たちは休まずに動くだらう。

[筆者紹介] ハム・ウンジュ。ホッケー選手出身で運動(sport)する運動家(activist)を目指す。スポーツ社会学を専攻し、文化連帯執行委員を務め、スポーツ文化政策、スポーツ人権、性平等スポーツと関連した活動をしている。

出典：<https://www.ildaro.com/9741>

02 大邱日報 2023. 10. 09

慶州市民社会団体人権侵害加害者体育会長糾弾の声を高めて



慶州市民社会団体（以下、市民団体）が現在、警察の取調べが行われている慶州市体育会長に対して公開謝罪し、自ら辞退するよう促した。

慶北労働人権センターをはじめとする 17 の市民団体は 6 日、慶州市庁で記者会見を開き、選手団を管理しなければならない体育会長が人権侵害の加害者として登場し、体育界の問題が深刻だと憂慮を示し改善の余地が多いと指摘した。

市民団体は「体育会長が選手たちに暴言と暴行などの苛酷行為で圧迫し、一部の女性選手たちにはセクハラ疑惑も提起されている状況」とし「加害者が被害者たちに謝罪せず責任を回避していて嘆かわしい」と批判した。

市民団体はまた「慶州市体育界の根強い暴力文化は故チェ・スクヒョン選手問題で全国的な竜巻を引き起こし、いまだに法的な問題が進行しているが、このような事態がまた発生したのは慶州市体育会が自浄能力を失ったものと判断される」と述べた。

市民団体は続いて慶州市体育会長は市民に公開謝罪し、自主辞退することを促した。また慶州市に対しては「体育会に委任した職場運動競技部選手団運営委託を撤回し運営の責任を負うことと選手たちに対する人権侵害関連全数調査を定例化し、被害選手たちに対する支援方案を用意し、繰り返される人権侵害との断絶を宣言し新しい出発の契機を用意せよ」と注文した。

慶州市はこれに先立ち、慶州市所属の選手たちから慶州市体育会長の性暴力および苛酷行為の有無確認書を提出され、相談を進めた結果、慶州警察署に職場内いじめなどの疑いで先月 14 日捜査依頼した。続いて体育界の人権侵害や不正を調査するスポーツ倫理センターも事件を受け付け、調査が進められている。

出典：<https://www.idaegu.com/newsView/idg202310090046>

03 釜山第一経済 2023. 10. 16

平和のための青年たちの歩み「2023 地球ラン:平和の足跡 in 釜山」開催



釜山・慶南地域の青年 1000 人余りが一ヶ所に集まり平和のための一歩を踏み出した。

韓国船員障害者福祉協会が主催し、ウィア'ラン'が主管する 2030 釜山世界博覧会誘致祈願「2023 地球ラン:平和の足跡 in 釜山(以下地球ラン)」マラソン行事が 15 日、釜山三楽生態公園で開催された。

マラソンは古代ギリシャのマラソン戦闘に由来するスポーツで、アテネまで走って行き、戦争の勝利を知らせ、死んだ伝令を称える意味で作られたが、今回の地球ランは地球村で戦争を止めて平和の足跡を残そうという趣旨で企画された。

今回の行事は平和の遺産を残すために釜山の他にもソウル・全州・坡州など地域別ピースポイント(PEACE POINT)4ヶ所でバーチャルレース形式で行われた。世界中の人々を一つにして美しい平和連帯を実現するため、地球の周りの 40,120 キロを 1 人当たり少なくとも 4 キロずつ走ることを基準に、ピースレーサー(マラソン参加者)の足跡で埋めていくことを目標にした。

主催側は、「分断と緊張の遺産がある大韓民国で、文化、政治、宗教的葛藤を越え、自由、平和、人権の価値が未来世代に持続することを念願するため、今回の行事を企画した」と説明した。

特に釜山は、朝鮮戦争当時、避難首都であり、漆谷の近現代史を経験しただけに、平和の意味がより一層格別だ。これは今回のマラソン行事だけでなく、2030釜山世界博覧会誘致においても重要な意味を持つ。

これに伴い、2030釜山世界博覧会誘致祈願、平和ブースなど多様な体験ブースも運営された。そのうち、平和ブースでは戦争の残酷さを知らせ、平和の重要性を改めて知らせる時間が設けられた。

この日の行事に参加したあるピースレーサーは「多様なブースを通じて戦争の残酷さを知り平和の意味を刻む時間になった」として「今日ピースレーサーとしての小さな一歩が平和の歩みになれる意味深い行事に参加することになり嬉しい」と話した。

韓国船員障害者福祉協会会長は「世界各地では依然として戦争が起きているが、これ以上戦争による被害者が出ないことを願う気持ちで平和のために声を一つにすることができるよう今回の行事を企画することになった」とし「単純なマラソン行事を越えて人類の平和のために皆が平和の足跡を残す第一歩になるだろう」と話した。

ヤン・ヒジェ WE ARE ONE 釜山慶南西部地域連合会長は「韓国戦争当時、多くの避難民が集まった釜山で今日平和のために多くの青年が集まった」として「不慣れだとしても今日一緒にマラソンを走ったように先に近づいて助け、皆が一つになれば戦争のない平和な世の中が来るだろう」と強調した。

WE ARE ONE 釜山慶南東部地域連合会のキム・シンモ会長は「平和のために心を合わせて一緒に走れば、真の平和がなされるだろう」としウイア'ラン'の多くの青年が踏み出した平和の足跡が世界中に届き、より多くの人に平和のメッセージが伝えられるよう今後も熱心に走る」と今後の歩みを説明した。

この日のイベントは祝賀公演、開会の辞、レース、閉会の辞の順で続き、レースは5kmと10km、5kmのウォーキングの3つのグループに分けて行われた。

一方、国外でもウイア'ラン'ランニングクルーたちが今月末までバーチャルレース形式で平和の歩みに参加する。

出典：<https://www.busaneconomy.com/news/articleView.html?idxno=306263>

04 聯合ニュース 2023.10.13

スポーツ倫理センター、木浦競技場「訪問相談窓口」を運営



スポーツ倫理センターは13日、全羅南道で開かれる第104回全国体育大会でスポーツ人権侵害予防および広報活動を行うと発表した。

倫理センターは大会期間の13～19日、大会のメイン競技場である木浦総合競技場で「訪問相談窓口」と広報ブースを運営する。

相談窓口では人権侵害や各種不正申告を受けながら相談を進める。被害者には支援手続きを案内する。

相談窓口は木浦総合競技場2階にある。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20231013106000007?input=1195m>

05 ソウル経済 2023. 10. 12

「みんなのためのスポーツ」… 人権委、全国体育大会の人権点検に乗り出す



国家人権委員会（人権委）が第 104 回全国体育大会と第 42 回全国障害者体育大会の人権状況に対する点検に乗り出す。

人権委は 13 日から木浦、麗水、順天など全羅南道一帯で開催される大会現場を訪問し、計 9 種目に対する選手人権状況および競技場環境などに対するモニタリングを実施する予定だと 12 日明らかにした。

人権委は今回の点検を通じてスポーツ競技現場で発生しうる人権侵害を予防し、大会に参加する選手、指導者、大韓体育会および協会関係者などの人権意識および施設、環境改善事項を確認する方針だ。

大会の人権親和的な開催と進行のために大韓体育会も積極的に乗り出した。大韓体育会は大会期間中に関係機関と協力して現場に人権相談室(スポーツ倫理センター)、セクハラ・性暴行相談センター、道民人権相談センター(全羅南道)を運営し「スポーツ人権の日」を記念してこの日スポーツ人権関連広報行事も進行する。

出典：<https://www.sedaily.com/NewsView/29VXJN5W1M>

06 週間スポーツニュース

仁川市体育会、「スポーツ人権守護神」最優秀賞快挙

<http://www.kyeongin.com/main/view.php?key=20231012010001975>

大韓体育会、第 104 回全国体育大会全羅南道で開催

<https://www.spotvnews.co.kr/news/articleView.html?idxno=637645>

韓国ビリヤード連盟、スポーツ人権の日 3 周年人権経営大賞

<https://www.nocutnews.co.kr/news/6028387>

京畿道障害者体育会、2023 年下半年に市郡障害者体育会ワークショップを開催

<https://www.kihoilbo.co.kr/news/articleView.html?idxno=1052322>

サウジに移籍したと揶揄… ヘンダーソン氏は英国のファンに「率直に言って失望した」

<https://www.footballist.co.kr/news/articleView.html?idxno=174416>

木浦全国体育大会の現場でスポーツ人権侵害の通報を受ける

https://www.newsis.com/view/?id=NISX20231013_0002481816&cID=10501&pID=10500

IOC「ウクライナ組織無断統合」ロシア五輪委員会の資格停止

https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1007381200&plink=ORI&cooper=NAVER

ビリヤード連盟、「人権尊重誓いキャンペーン」スポーツ人権優秀事例公募展大賞

<https://www.osen.co.kr/article/G1112202257>

釜山市ハンマウムスポーツセンター、文化体育観光部「2023 最優秀障害者体育施設」選定

https://www.newsis.com/view/?id=NISX20231016_0002483504&cID=10811&pID=10800

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.vg.jpn.org/sportscm/index.html>